

令和2年5月1日

医療機関の長 殿

茨城県医師会会長 諸岡 信裕

「新型コロナウイルス関連感染症：第34報」

守谷慶友病院外来・入院診療・救急車受入れ停止について

令和2年4月28日に守谷慶友病院(守谷市)の医療従事者の新型コロナウイルス感染が確認されました。

このことにより、4月28日から3日間、救急外来が停止され、5月1日～5月6日までの6日間、外来・入院診療及び救急車の受入れを停止することとなりました。

なお、守谷慶友病院によりますと、保健所の調査により、感染が確認された職員と接触のあった職員全員について、感染に関して低リスクであり就業制限の必要はないと判断されました。また、医師3名、看護師13名、看護助手1名、入院患者3名の計20名については、4月28日、29日の両日において各人2度のPCR検査を実施し、全員陰性である事を確認しました。現時点では当該職員以外に感染を疑う職員及び患者はおりませんが、念のための対応ということです。

この状況をご理解いただき、近接医療機関へ受診または搬送となりました際は、ご高配賜りますようお願いいたします。

ライオンズクラブからのマスク寄贈について

5月1日、ライオンズクラブ国際財団、一般社団法人日本ライオンズより、COVID-19緊急支援物資として、マスク5,000枚を寄贈いただきました。準備が整い次第、郡市医師会に配付いたします。